



先見性のあるテーマにチャレンジを

専務取締役・技師長 山 本 俊 雄

「国際化の時代が来る。自由化の時代が来る。」と東ソー研究報告（1988年）に書いて、早や5年、その間、現実には急速に且つ激しく進展しています。この激しい変革の時代に、私達の東ソーが、生き残り、勝ち残り、繁栄して幸福を実現していくためには、研究開発力・技術力をレベルアップし、研究開発の成果をあげて、会社の業績に貢献することが肝要です。現在の事業のレベルアップ、即ち、プラントに於ける省エネ・省資源化、製品の品質向上、及び、関連製品の開発・技術サービスの強化は勿論のこと、新しい技術・新しい製品の開発が強く望まれています。

現実には、一口に新しい技術・新しい製品と言っても、簡単なものではありませんが、「意思ある所道あり」とも言います。是非とも、チャレンジ精神で、成果をあげていただきたいと思います。

しかしながら、精神論だけで成果があがるものではありません。具体的には、テーマの選定が重要です。現在実施しているテーマで、期待しているものもありますが、更に大きなプロセス革新とか、潜在需要を顕在化して、大きな需要を創成する新製品開発が望まれています。

プロセス革新については今更説明の要はないと思いますが、一方潜在需要があり、顕在化した時大きな利益を生む新製品のテーマは、鋭い洞察力と先見性無しには設定されえません。

即ち、既存既知の情報からの三段論法的な思考によるテーマ選定のやり方では、そのようなインパクトの大きい新製品の開発につながるテーマは選定されません。

従って、テーマ提案者の強烈なチャレンジと、テーマの真の価値を洞察する能力のあるマネジメントが必須であり、関係各位の自己研鑽と、テーマ選定のシステムの見直しが必要と思っています。

現在、当社の経営を取りまく環境は、大変厳しいものがありますが、製・販・研一体となり、心を一つにして頑張れば、必ず乗り切れると確信しています。また更に技術開発・研究開発の成果がプラスされれば、明るい未来が必ず訪れます。

技術開発・研究開発に携わる皆さんの、高いレベルでのチャレンジと成功を期待します。

以上